Print/Scan System(R)

ネットワークスキャナ
使用説明書
< セットアップ編 >

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、複写機本体の使用説明書といっしょに大切に保管してください。

商標について

・Microsoft 、Windows 、Windows NT および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・Windows Me および Windows XP は、Microsoft Corporation の商標です。
・Ethernet はゼロックス社の登録商標です。
・IBM ならびに IBM PC/AT は、米国 IBM International Business Machines Corporation の商標です。
・Adobe、Acrobat は、アドビシステムズ社の登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中には TM および ® は明記しておりません。

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

使用説明書について

本使用説明書は機械本体にスキャナインタフェースカードを装着し、ネットワークスキャナとして使用する場合に、お読みいただく説明書です。本使用説明書ではセットアップ方法および本体の操作方法について説明しています。
設定を行う場合には、接続するコンピュータ（以下 PC と記述します）の環境によって、設定すべき内容に差異がありますので、必要な部分をお読みいただき、正しい設定を行ってください。
付属の CD-ROM に納められている使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）とあわせてお読みください。使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）には、スキャンのしかた、各種設定方法および、PC からの操作方法について説明しています。

使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）について

使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）は PDF（Portable Document Format）形式で付属の CD-ROM に収録されています。
使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）にはネットワークスキャナを使用するためのアプリケーションの使用方法が説明されています。主な内容は以下の通りです。

・ネットワークスキャナシステムの導入
・Web ブラウザからの設定方法
・スキャン設定
・付属ユーティリティの説明
　Scanner File Utility
　Address Book
　Address Editor
　TWAIN Source
　コンフィギュレーションツール
　DB Assistant

●オンラインマニュアルの開き方

オンラインマニュアルを参照するときは以下の手順で行ってください。

1. 付属のスキャナ CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに入れてください。自動でセットアップ用のメインメニュー画面が表示されます。

2. メインメニュー画面で［ドキュメント］をクリックしてオンラインマニュアルを開いてください。
　※オンラインマニュアルをご覧になるには Adobe Acrobat Reader4.05J 以上 がインストールされている必要があります。
　　付属の CD-ROM に Adobe Acrobat Reader J が収録されていますので CD-ROM からインストールすることができます。

お願い

・スキャナで読み取った書類、楽譜、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人として使用する以外は著作権法により著作者に無断で使用できません。

以下のものは、スキャナで読み取るだけで、法律により罰せられます。

・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券、外国において流通する紙幣・貨幣・証券類、未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規定の証券類。

注意を要するものには

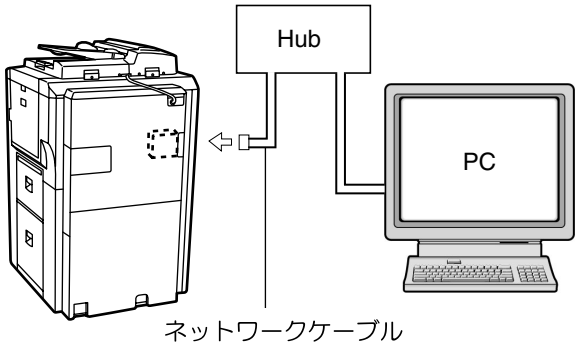
・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証、有価証券や定期券、通行券、回数券、食券などの切符類も勝手に読み取らないほうがよいと考えられます。

セットアップをしましょう

本機からスキャナを使用するには以下の手順が必要です。

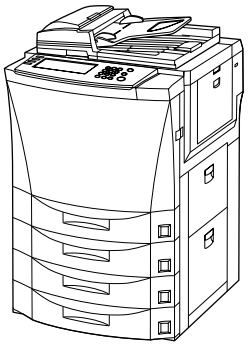
本体とコンピュータを接続する

＜接続例＞



本体にネットワークケーブル
（100BASE-TX、10BASE-T）を
接続します。 P2-2

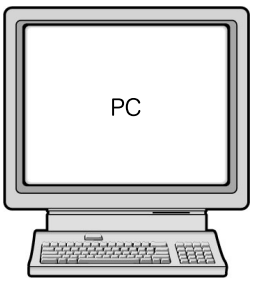
機械本体の操作



スキャナ基本設定
（ホスト名、IP アドレスを設定する） P2-2

ユーザー登録
（ユーザー登録する） P2-3

コンピュータの操作



各種専用ソフトのインストール（同梱CD-ROMに収録）

Scanner File Utility
スキャナで読み込んだ画像イメージをファイルに保存する

TWAIN Source
TWAIN対応アプリケーションに画像イメージを取り込み可能にする

Address Book
スキャナ操作部から参照可能な個人アドレス帳

Address Editor（管理者用ツール）
共通アドレス帳の登録、編集、ネットワーク設定、機能初期設定

DB Assistant（管理者用ツール）
スキャンした画像への文書情報の登録・設定

※ソフト機能詳細はオンラインマニュアル機能編を参照

スキャン準備OK！

目　次

1．セットアップの前に 1-1
1-1　各部の名称 1-1
●本体各部 1-1
●操作パネル 1-2
1-2　付属品の紹介 1-3
1-3　ユーティリティソフトウェアの紹介（CD-ROM の主な内容） 1-3
1-4　準備するもの 1-3

2．セットアップのしかた 2-1
2-1　スキャナ本体のセットアップ 2-1
（1）概要図 2-1
（2）本体とコンピュータを接続する 2-2
（3）本機タッチパネルからの設定 2-2
2-2　スキャナソフトウェアのセットアップ 2-7
（1）動作環境 2-7
（2）使用方法の概要 2-7
（3）各ユーティリティのインストール 2-8
（4）TWAIN Sourceのインストール 2-8

3．本体側の操作方法 3-1
3-1　PC 送信、E メール送信の画像の読み込み 3-1
（1）PC 送信を行う前に 3-1
（2）E メール送信を行う前に 3-1
（3）PC 送信、E メール送信の画像読み込み方法 3-1
3-2　TWAIN での画像の読み込み 3-4
・本体からスキャンする場合 3-4
・PC からスキャンする場合 3-4
3-3　データベース連携の設定 3-6
（1）データベース連携を行う前に 3-6
（2）データベース連携の設定方法 3-6

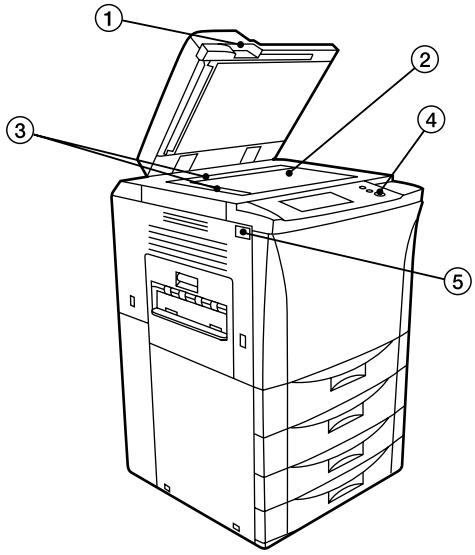
4．こんなときには 4-1
4-1　エラーメッセージ 4-1

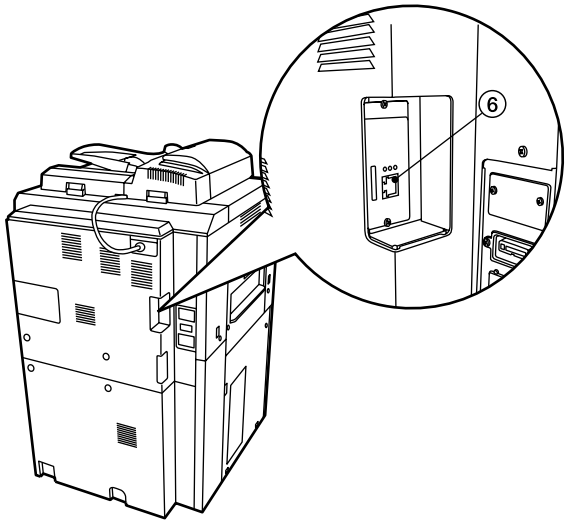
5．仕様 5-1
5-1　スキャナ仕様 5-1

1. セットアップの前に

1-1　各部の名称

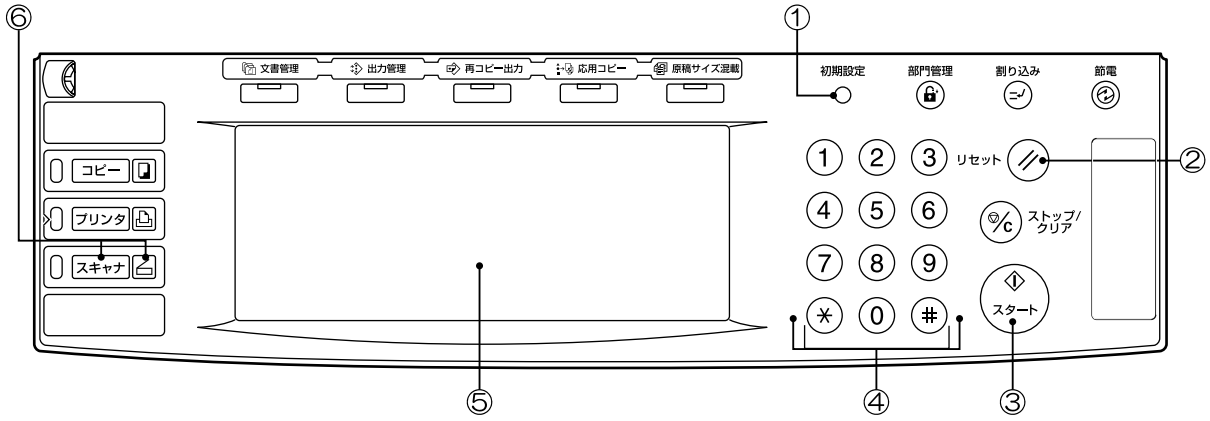
● 本体各部





①原稿押え
　コンタクトガラスに原稿をセットするときに開閉してください。
②コンタクトガラス
　原稿をここにセットしてください。原稿は左奥にあわせて下向きにセットしてください。
③原稿サイズ指示板
　原稿をセットするときは必ずこの指示板に合わせてください。
④操作パネル
　本機の操作はここで行います。
⑤メインスイッチ
　本機を使用する前には、メインスイッチを ON（｜）にしてください。
⑥スキャナインタフェースコネクタ
　本機をネットワークに接続するためのインタフェースコネクタです。10BASE-T または 100BASE-TX を接続してください。
　※スキャナインタフェースカードは絶対に取り外さないでください。

● 操作パネル



①初期設定キー
スキャナの初期設定、ユーザー登録を行うときに押してください。

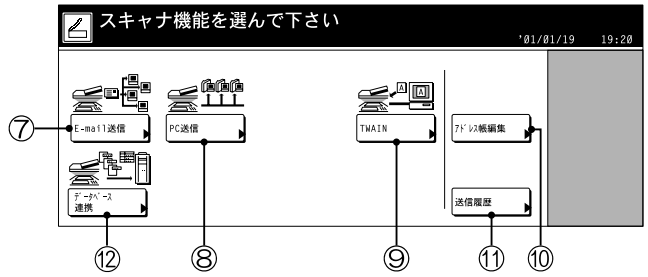
②リセットキー
初期設定や読み込み設定のキャンセル、宛先選択や送信先選択をクリアするときに押します。

③スタートキー
原稿の読み込みを開始または継続するときに押します。

④テンキー
設定値を直接入力するときに押します。

⑤タッチパネル
本機の状態や、設定値、各種操作キーを表示します。

⑥スキャナキー（表示）
オプションのネットワークスキャナ装着時に、スキャナモードに切り替えるときに押してください。スキャナモードに入るとスキャナ表示が点灯します。



●スキャナモード時のタッチパネル

⑦E-mail 送信
画像データを E メールの添付ファイルにして送信する操作を行うときに押します。

⑧PC 送信
PC 上に画像データをファイルとして保存させる操作を行うときに押します。

⑨TWAIN
TWAIN 対応アプリケーションからスキャン操作を行う場合、このボタンを押して TWAIN モードにしてから原稿をセットすると、アプリケーションからの接続がより確実になります。

⑩アドレス帳編集
共通アドレス帳の編集、ユーザー情報の修正を行います。

⑪送信履歴
“E-mail 送信”、“PC 送信”、“データベース連携”で送信した履歴を表示します。

⑫データベース連携
PC 上に画像データをファイルとして保存させる際に、文書情報を追加させる場合に押します。

1-2 付属品の紹介

ご使用になる前に以下のような付属品が揃っているかご確認ください。
・CD-ROM（スキャナライブラリ）
・CD-ROM（TWAIN 対応アプリケーション）
・本使用説明書

1-3 ユーティリティソフトウェアの紹介（CD-ROM の主な内容）

●CD-ROM（スキャナライブラリ）
- Scanner File Utility
- TWAIN Source
- Address Book
- Address Editor
- コンフィギュレーションツール
- Acrobat Reader
- DB Assistant
- オンラインマニュアル

※付属ユーティリティソフトウェアの使い方についてはオンラインマニュアル機能編を参照してください。

●CD-ROM（TWAIN 対応アプリケーション）

1-4 準備するもの

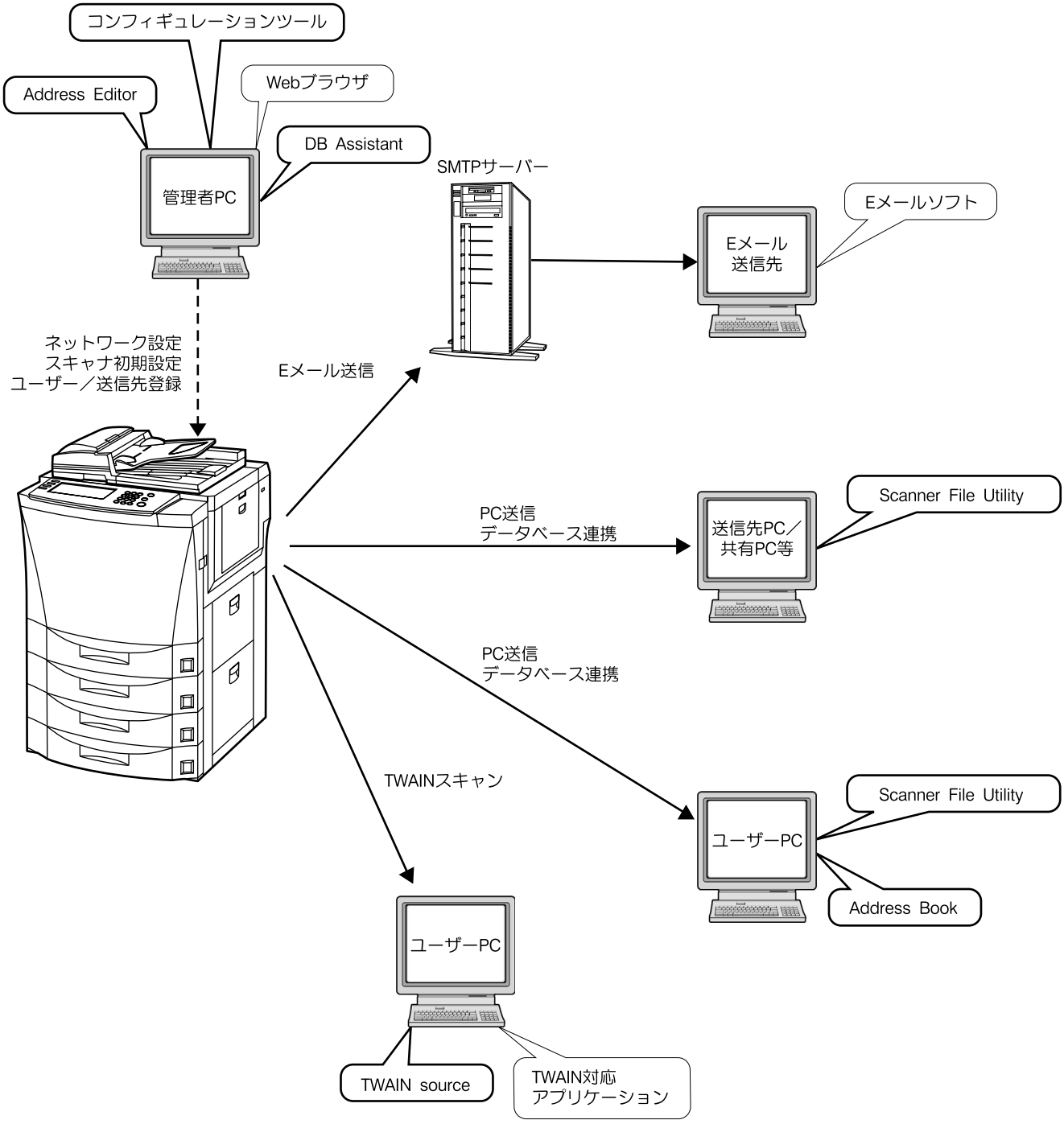
使用される環境に合わせて以下のようなケーブルをご用意ください。
・100BASE-TXケーブル（シールドタイプ）
・10BASE-Tケーブル（シールドタイプ）
※10BASE-T、100BASE-TXケーブルを使用される場合は、シールド付のケーブルをご用意ください。

2. セットアップのしかた

2-1　スキャナ本体のセットアップ

（1）概要図

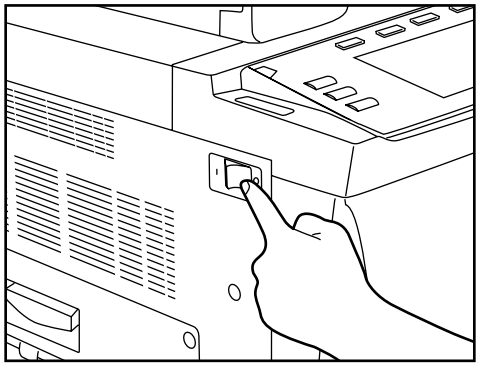
Scan System を使用したスキャナデータ送信方法と必要なソフトウェア
太枠のソフトウェアは同梱されています。用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてご使用ください。



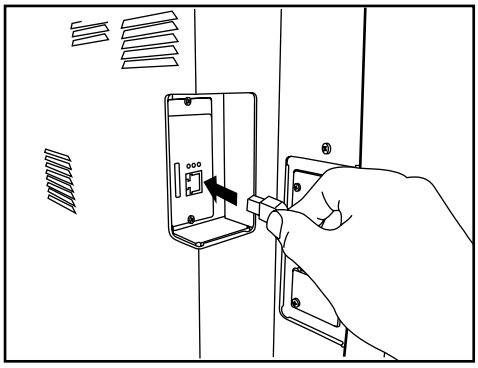
※それぞれの同梱ソフトについては、オンラインマニュアル機能編を参照してください。

（2）本体とコンピュータを接続する

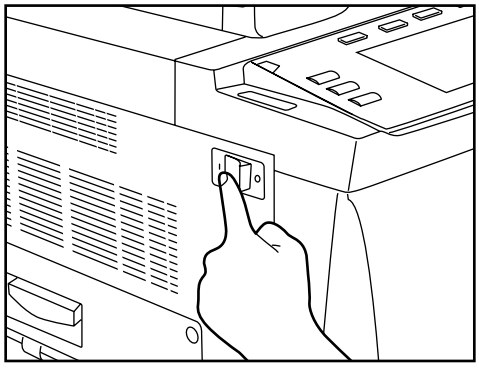
1 本体右にあるメインスイッチを OFF（○）にしてください。
注意：ネットワークケーブルを接続する際は、必ず本機の電源を OFF にしてから接続してください。



2 本体左後のスキャナインタフェースコネクタに 10BASE-T または 100BASE-TX を接続してください。
※スキャナインタフェースカードは絶対に取り外さないでください。



3 本機のメインスイッチを ON（｜）にしてください。



（3）本機タッチパネルからの設定

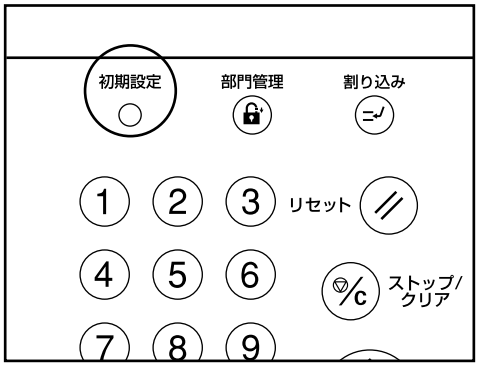
ここでスキャナで使用する初期設定、およびユーザーの登録をします。
付属ソフトウェアを使用すると、スキャナと同じネットワークに接続している PC から Web ブラウザまたは Address Editor を使用して、以下と同様の設定ができます。詳細はオンラインマニュアル機能編をご覧ください。

補足

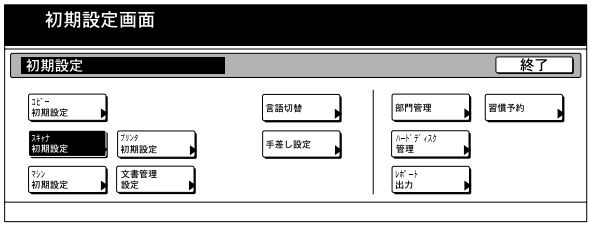
- 設定するネットワークアドレスは、運用される環境により異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。
- DHCP サーバを使ってネットワークアドレスを設定している場合は、出荷時設定で DHCP が[有効]になっているので IP アドレスおよびサブネットマスクを変更する必要はありません。

●スキャナ基本設定

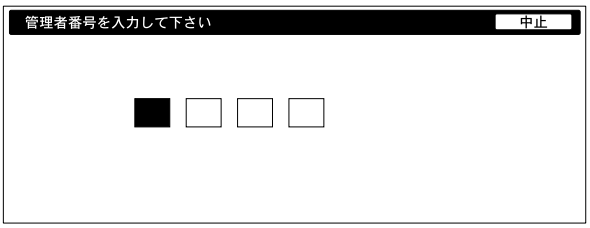
1 初期設定キーを押して、コピーモード画面から初期設定画面を表示させてください。



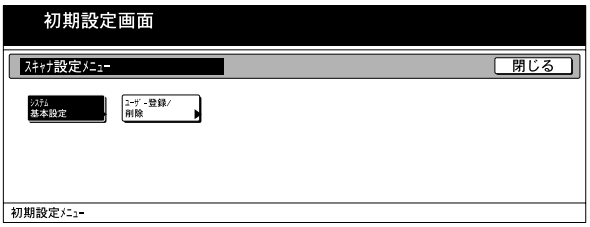
2 [スキャナ初期設定]を押してください。暗証番号入力画面に変わります。



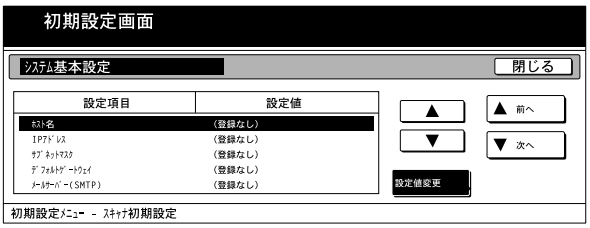
3 テンキーで管理者番号を入力してください。出荷時設定は“6300”です。
※管理者番号が一致すればスキャナ設定メニューに変わります。
※4 桁の管理者番号は変更することができます。複写機本体の使用説明書を参照してしてください。



4 [システム基本設定]を押してください。システム基本設定画面が表示されます。
※“スキャナが使用できません”が表示される場合は初期設定画面に戻り、しばらく（約 2 分間）待ってから再度、[システム基本設定]を押してください。



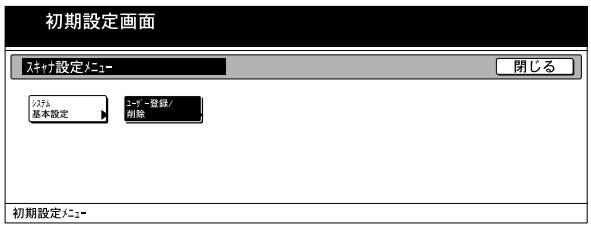
5 ▲▼で設定する項目を選択し、[設定値変更]を押してください。登録画面が表示されます。
・ここではホスト名の入力方法について説明します。その他の設定については、ホスト名の入力方法を参考に設定してください。



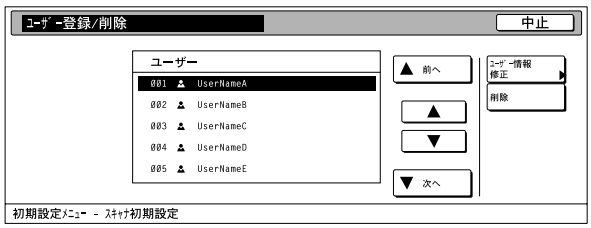
6 文字入力キーを押し、ホスト名を入力します。入力したホスト名を確認し、よろしければ、[入力終了]を押してください。システム基本設定画面に戻ります。
[中止]を押すと設定は元に戻ります。

●ユーザー登録
本機タッチパネルからユーザー登録する手順について説明します。ユーザー登録は Web ブラウザまたは Address Editor からも登録することができます。

7 スキャナ基本設定と同様に手順 1～3まで行い、スキャナ設定メニュー（手順 4 の図）から、[ユーザー登録／削除]を押してください。ユーザー登録 / 削除画面が表示されます。



8 すでに入力されたユーザー登録の修正を行う場合は▲▼キーで修正をしたいユーザー名を選択し、[ユーザー情報修正]を押してください。ユーザーパスワード（P2-5“ユーザー登録の内容”を参照）を設定している場合はパスワードを入力してください。ユーザー情報編集画面が表示されます。
ユーザー登録を削除する場合は▲▼キーで削除したいユーザー名を選択し、[削除]を押してください。



9 ▲▼キーで設定する項目を選択し、[設定値変更]を押してください。設定変更画面が表示されます。
以下、画面にしたがって入力してください。
※文字入力のしかたについては複写機本体の使用説明書を参照してください。

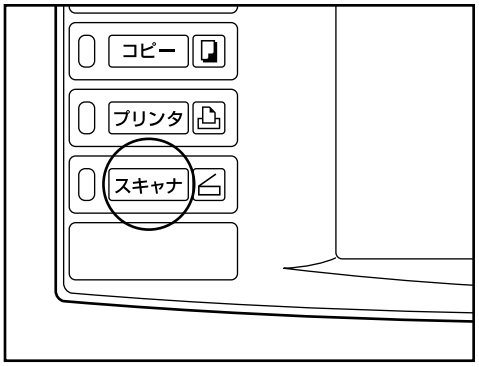
●共通アドレス帳編集

本機タッチパネルからアドレス帳編集する手順について説明します。

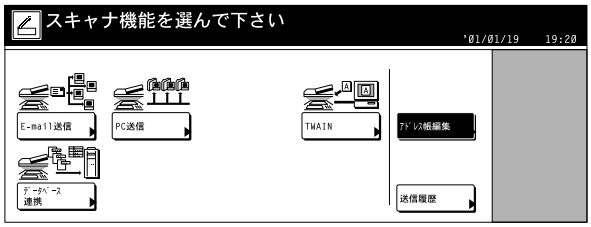
※アドレスの新規登録もできます。

※共通アドレス帳の登録は、Web ブラウザまたは Address Editor からも登録が可能です。

10 スキャナキーを押して、スキャナ機能選択画面を表示させてください。



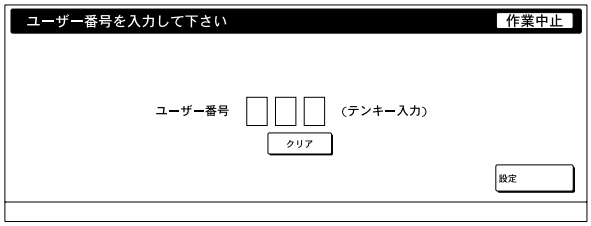
11 [アドレス帳編集]を押します。ユーザー番号入力画面が表示されます。



12 ここで送信元（ユーザー）のユーザー番号を入力し、[設定]を押してください。

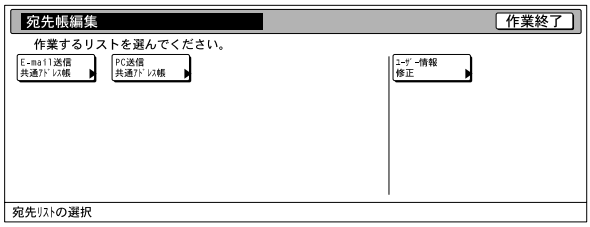
宛先編集画面になります。（P2-3 手順 8 参照）

※ユーザー登録時にパスワードを設定していれば、パスワード入力が必要となります。



13 編集する共通アドレス帳を選択してください。選択した共通アドレス帳の登録、編集画面が表示されます。

※送信元のユーザー情報を修正したい場合は[ユーザー情報修正]を押して、再登録してください。（P2-3 手順 9 参照）



14 宛先登録する場合は、[新規宛先登録]を押してください。

グループ登録する場合、グループに宛先を追加する場合は、[新規グループ登録]を押してください。

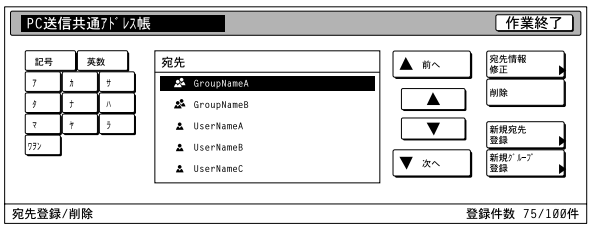
宛先登録する場合、手順 15 に進みます。

新規グループ登録する場合、手順 16 に進みます。

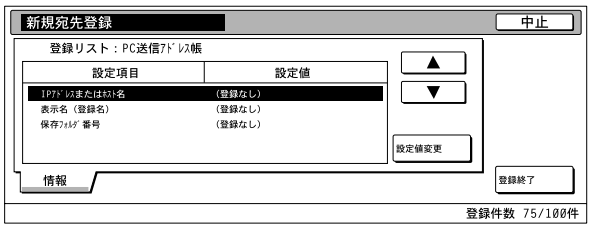
すでに入力された宛先の修正をおこなう場合は▲▼キーで修正したい宛先を選択し、[宛先情報修正]を押して修正してください。

宛先を削除する場合は、▲▼キーで削除したい宛先を選択し、[削除]を押してください。

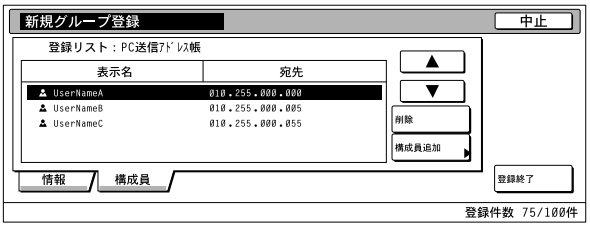
※画面は PC 送信の共通アドレス編集画面です。



15 （宛先登録）▲▼キーで設定する項目を選択し、[設定値変更]を押してください。設定値変更画面が表示されます。画面にしたがって入力してください。最後に[登録終了]を押すと、宛先が登録されます。



16 （グループ登録）[情報]タブを押すとグループ表示名が表示されます。
表示名を変更したい場合は、▲▼キーで変更したい宛先を選択し、[設定値変更]を押して変更してください。
[構成員]タブを押すと、現在グループの構成員が表示されます。
構成員を追加したい場合は、[構成員追加]を押してください。構成員追加画面が表示されます。▲▼キーで追加したい構成員を選択し、[追加]を押してください。最後に[登録終了]を押すと、構成員が追加されます。



●ユーザー登録の内容

E-mail アドレス ..... E-mail 送信の場合、メールを受けとった人が返信を行うと、このアドレスに返信されます。また、PC 送信、E-mail 送信で送信エラー発生時、ここで設定したアドレスにメールで通知されます。

IP アドレスまたはホスト名 ..... PC 送信機能で宛先選択の際、[ユーザー PC に保存]を選択すると、このアドレスの PC に画像イメージが送信されます。

表示名（登録名） ..... ユーザー選択時に表示されるユーザー名です。必ず入力してください。

ユーザーパスワード ..... ユーザー選択時に入力するパスワードです。（登録なしでも可能）
※数字のみ 8 桁まで。

保存先フォルダ番号 ..... [ユーザー PC に保存]を選択したときに、保存先として設定されるフォルダの番号です。Scanner File Utility でこの番号に対応するフォルダを設定してください。
※[ユーザー PC に保存]までの手順については P3-1“PC 送信、E メール送信の画像読み込み”を参照してください。
※数字のみ 3 桁 001 ～ 100 まで。
※保存先フォルダ番号はここでは 1 つしか登録できません。

●宛先登録の内容

E-mail アドレス ..... E-mail 送信の場合、ここで設定したアドレスに画像イメージを添付して、メールを送ります。

IP アドレスまたはホスト名 ..... PC 送信の場合、このアドレスの PC に画像イメージが送信されます。

表示名 ..... アドレス帳に表示される宛先名。

保存先フォルダ番号 ..... PC 送信の場合、宛先として設定されるフォルダ番号です。宛先の PC の Scanner File Utility で、この番号に対応するフォルダを設定してください。

構成員追加 ..... グループ登録する場合、共通アドレス帳からグループ登録する宛先を追加します。

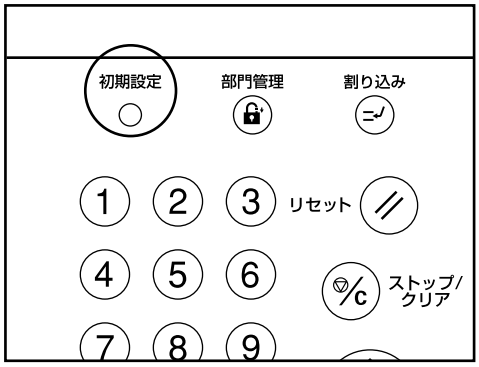
補足

・スキャナのユーザーが自分専用の送信先リストを作成、利用する場合は、Address Book を送信元（ユーザー）PC にインストールしてください。その後、送信先を登録し、起動させますと、個人アドレス帳が使用できます。

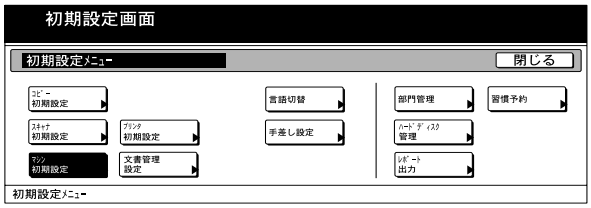
●日付 / 時刻、時差の設定

Eメール送信機能で必要な地域情報を設定します。
スキャナからEメール送信が行なわれた時刻が送信時刻としてEメールのヘッダに記録されます。ご使用の地域での日付、現在の時刻と、GMT（世界標準時）からの時差を以下の手順にしたがって設定してください。

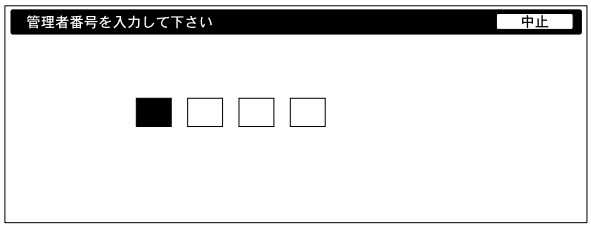
1 初期設定キーを押します。初期設定画面が表示されます。



2 [マシン初期設定]を押します。管理者番号入力画面が表示さます。

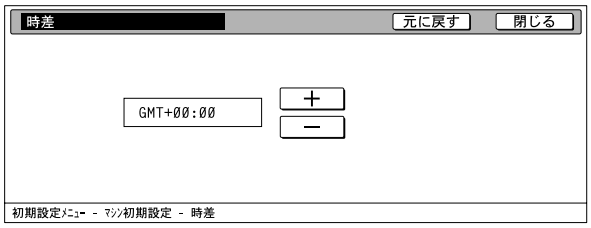


3 テンキーで管理者番号を入力してください。出荷時設定は“6300”です。
※管理者番号が一致すればスキャナ設定メニューに変わります。
※4 桁の管理者番号は変更することができます。複写機本体の使用説明書を参照してしてください。



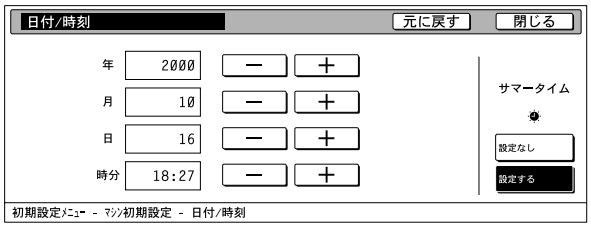
4 ▲▼キーで[時差]を選択し、[設定値変更]を押してください。
時差設定画面が表示されます。

5 [＋]または[－]を押して、時差を設定してください。[閉じる]を押すと、設定が確定します。



6 ▲▼キーで[日付 / 時刻]を選択し、[設定値変更]を押してください。
日付 / 時刻設定画面が表示されます。

7 [＋]または[－]を押して、日付 / 時刻を設定してください。[閉じる]を押すと、設定が確定します。



※時差を設定してから日付 / 時刻を設定してください。
※サマータイムと日付 / 時刻を同時に変更すると、サマータイムの設定は無効になります。

2-2 スキャナソフトウェアのセットアップ

（1）動作環境

PC		IBM PC/AT 互換機
OS		Windows 95 (OSR2), Windows 98 (Second Edition), Windows NT 4.0 (Service Pack 5), Windows 2000, Windows Me, Windows XP
動作環境	CPU	Pentium 133MHz 以上
	RAM	64MB 以上
	HDD	20MB 以上
推奨環境	CPU	Celeron 266MHz 以上
	RAM	64MB 以上
	HDD	300MB 以上
CD-ROM ディスクドライブ		1 ドライブ
イーサネット		10BASE-T/100BASE-TX

（2）使用方法の概要

このネットワークスキャナを使用するには、次の 4 つの方法があります。
用途や環境に応じて、必要なユーティリティを PC にインストールして使用してください。

●ＰＣ送信

読み取った原稿のイメージを任意の PC のフォルダの中にファイルとして保存させる方法です。
Scanner File Utility を該当する PC にインストールして使用してください。
※保存先フォルダの登録、スキャナへの送信先登録が必要です。
Web ブラウザ、各ユーティリティの設定は使用説明書 機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

●E メール送信

読み取った原稿のイメージを任意の宛先に E-mail の添付ファイルとして送信させる方法です。
※スキャナへの SMTP サーバの設定が必要です。
Web ブラウザ、各ユーティリティの設定は使用説明書 機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

●TWAIN

TWAIN 対応のアプリケーションからアプリケーションの手順に従ってスキャナを呼び出して使用する方法です。
使用するアプリケーションとともにインストールしてください。

●データベース連携

読みとった原稿をデータにする際に、文書情報を追加して任意の PC のフォルダの中に保存させる方法です。画像の送信方法は PC 送信と同じです。
※データベース連携（スキャンする画像に文書情報を追加する）において、DB Assistant、Scanner File Utility、Web ブラウザの設定方法については、使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

（3）各ユーティリティのインストール

本スキャナシステムには以下のようなユーティリティがスキャナ用 CD-ROM に納められています。
※各ユーティリティの使用方法は使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

- Scanner File Utility
- Address Book
- Address Editor（管理者用ツール）
- DB Assistant（管理者用ツール）

1 Windows を起動させてください。
※他に起動中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。

2 付属品のスキャナ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてください。
ウインドウが表示されます。
※CD-ROM をセットしても下の画面が表示されない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面上の[スキャナユーティリティ]をクリックしてください。

4 インストールを行うユーティリティの名称をクリックしてください。
各ユーティリティのインストール画面に変わります。画面の表示にしたがってインストールを行ってください。

（4）TWAIN Source のインストール

1 Windowsを起動させてください。
※他に起動中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。

2 付属品のスキャナ用 CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れてください。
ウインドウが表示されます。
※CD-ROM をセットしても下の画面が表示されない場合は、デスクトップの [マイ コンピュータ] 内の CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

3 画面上の[TWAIN Source]をクリックしてください。

4 機種選択画面が表示されます。ご使用の機種を選択してください。

5 インストール画面が表示されたら、画面の表示にしたがってインストールを行ってください。

3. 本体側の操作方法

3-1　PC 送信、E メール送信の画像読み込み

（1）PC 送信を行う前に

Scanner File Utility を使う際は、まず下記に示す設定などを行ってください。

1. Scanner File Utility を送信先の PC にインストールします。
2. Scanner File Utility を起動し、画像ファイルの保存先フォルダを登録します。
3. 保存先 PC の IP アドレス、登録名称と保存先番号を登録します。
   ※保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダのNO （001~100）と同じ番号を入力します。

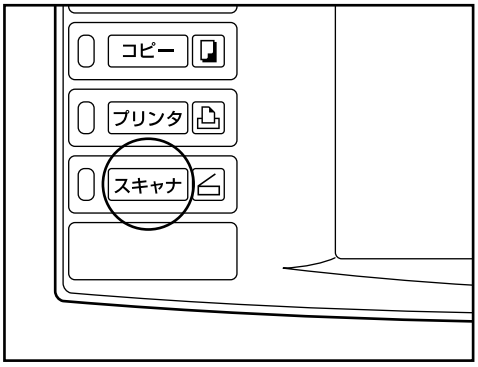
詳細は使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

（2）E メール送信を行う前に

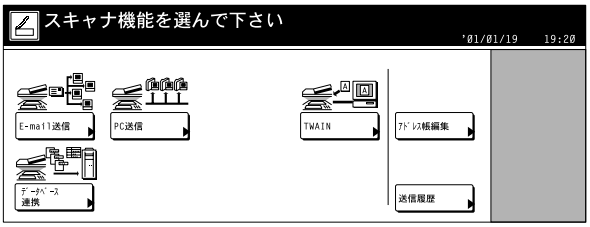
送信先の登録名称と E-mail アドレスを登録します。

（3）PC 送信、E メール送信の画像読み込み方法

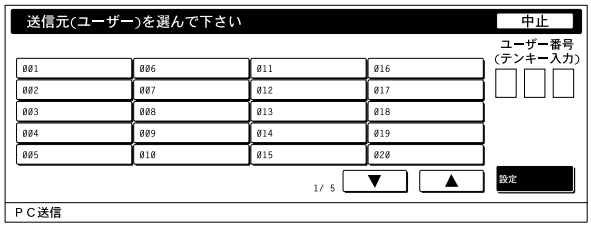
1 スキャナキーを押して、スキャナ機能選択画面を表示させてください。



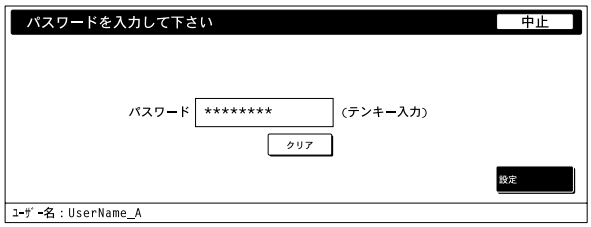
2 [PC 送信]または[E-mail 送信]を押します。
ユーザー選択画面が表示されます。



3 ▲▼を押して送信元（ユーザー）を選択し、[設定]を押してください。
スキャン設定画面が表示されます。
※ユーザー番号はテンキーで入力することができます。
※スキャナ初期設定の［送信元（ユーザー）選択の省略］が［設定する］の場合、自動的にユーザー番号 001 の送信元（ユーザー）を選択します。

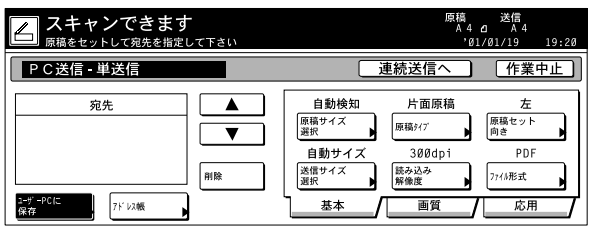


※ユーザー登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、[設定]を押してください。正しいパスワードであれば、スキャン設定画面が表示されます。



4 宛先を選択します。
PC 送信の場合、手順 5 に進みます。
E-mail 送信の場合、手順 6 に進みます。

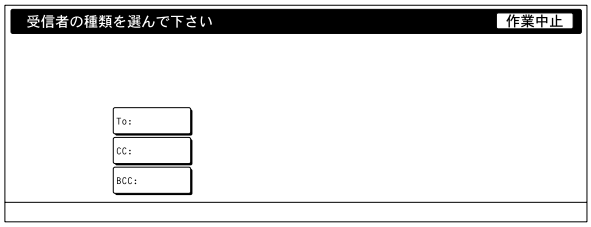
5 送信元（ユーザー）に保存する場合は、[ユーザー PC に保存]を押してください。
宛先欄に送信元（ユーザー）を表示します。
手順 9 に進みます。



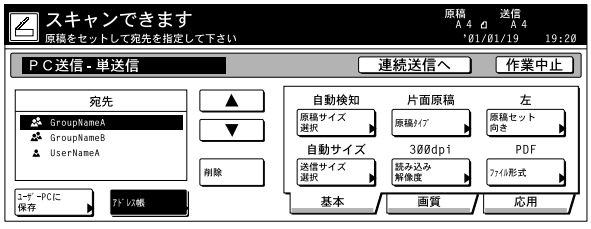
6 メールアドレスを入力する場合は、[アドレス入力]を押してください。アドレス入力画面が表示されます。

7 宛先（受信者）のメールアドレスを入力してください。入力後、[入力終了]を押すと、受信の種類を選択する画面が表示されます。

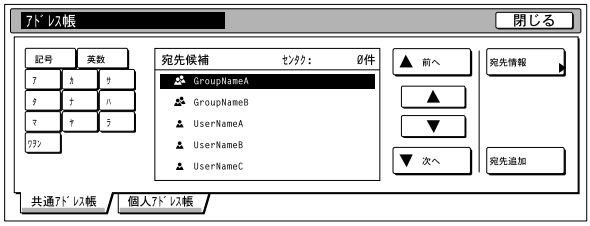
8 [To:]、[CC:]、[BCC:]から該当する送信方法を押します。



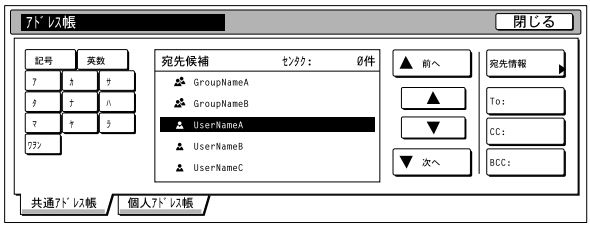
9 個人アドレス帳、共通アドレス帳を使用する場合は、[アドレス帳]を押します。
アドレス帳画面が表示されます。
※画面は PC 送信選択時のものです。



10 [共通アドレス帳]タブか、[個人アドレス帳]タブを押すと、画面に選択したアドレス帳の宛先が表示されます。ここでは共通アドレス帳から宛先を選びます。
▲▼を押して宛先を選択し、[宛先追加]を押してください。
E-mail 送信の場合は宛先を選択し、[To:]、[CC:]、[BCC:]から該当する送信方法を選択します。
画面宛先候補右に宛先追加した件数と☒が表示されます。
※個人アドレス帳は送信元（ユーザー）の PC で Address Book が起動していない場合は表示されません。

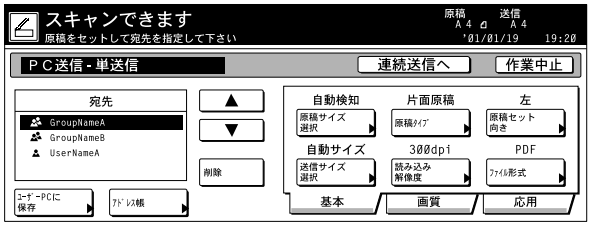


PC 送信選択時

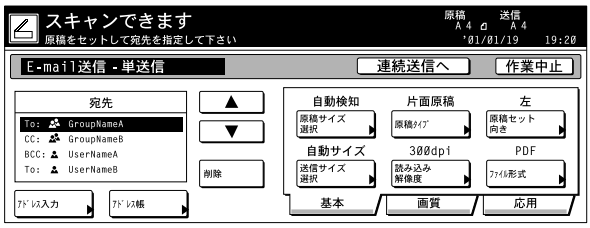


E-Mail 送信選択時

11 宛先が決まったら、[閉じる]を押してください。
続けて宛先を入力する場合は、手順 6 に戻ります。
※画面は PC 送信選択時のものです。

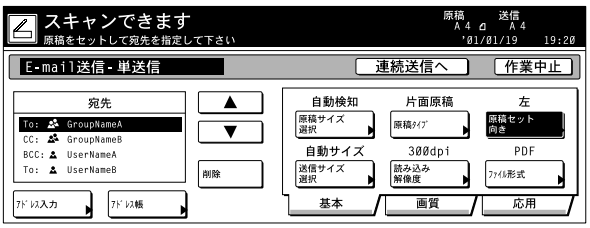


12 宛先を確認します。▲▼を押して、宛先が希望どおり選択されているか確認してください。不要な宛先が選択されていた場合は、[削除]を押してください。



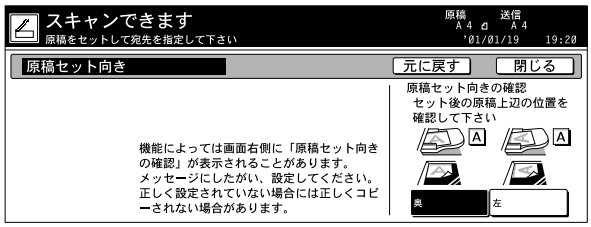
●スキャン設定

13 画面右にスキャン設定画面が表示されています。各種設定を行うときは該当のボタンを押して設定してください。ここでは例として、[原稿セット向き]の設定手順を説明します。
[原稿セット向き]を押してください。原稿セット向き選択画面が表示されます。

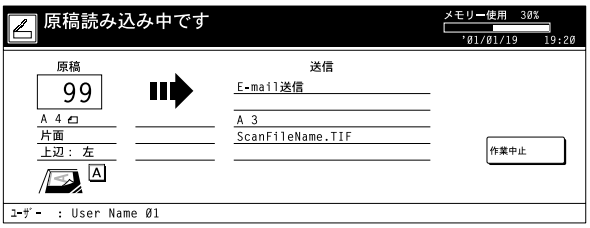


14 原稿の上辺を奥にセットした場合は、[奥]、左側に設定した場合は、[左]を選択してください。[閉じる]を押すと、変更した設定となり、[元に戻る]を押すと前の設定のまま、手順 12 の画面に戻ります。

※原稿セット向きが正しく設定されていない場合には正しくスキャンされない場合があります。スキャン設定を行う場合は、必ず原稿セット向きを確認してください。



15 各種設定を確認したら、原稿をセットし、スタートキーを押してください。
原稿の読み込みを開始します。



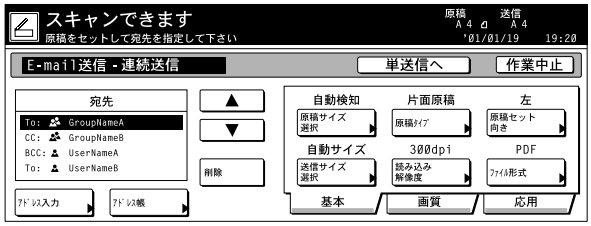
※スキャンを中止する場合は、[作業中止]を押してください。

16 スキャン設定画面で[連続読み込み]を[設定する]に設定している場合は、読み込み終了後に、読み込みを継続するか終了するか選択する画面が表示されます。
読み込みを継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択してスタートキーを押してください。
原稿の読み込みを終了する場合は、[読み込み終了]を押してください。

※画面は E-mail 送信時のものです。

17 スキャン設定画面で[連続送信]を設定している場合は、一度送信が終了すると、各種設定がその前に行った送信と同じ状態で、スキャン設定画面になります。
作業を継続する場合、次の原稿をセットし、必要に応じて、スキャン設定を選択してスタートキーを押してください。
作業を終了する場合は、[作業中止]を押してください。

※PC 送信時は、Scanner File Utility の［ファイルの上書き保存を許可］にチェックした状態で、ファイルを送信すると、同じ名称のファイルは上書きされます。連続送信時にファイル名を入力して送信する場合は、注意してください。



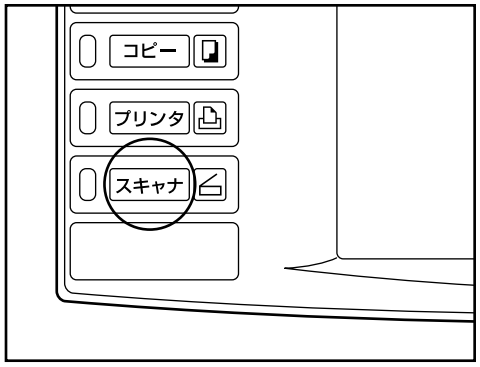
※画面は E-mail 送信時のものです。

3-2 TWAIN での画像読み込み

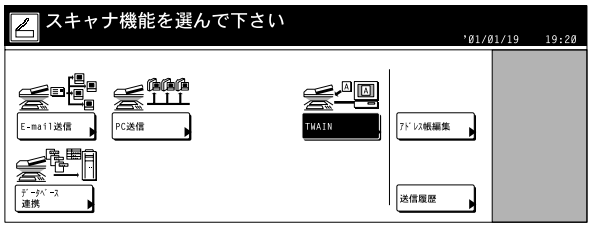
ここでは TWAIN を使用したときの本体設定のみ説明します。

●本体からスキャンする場合

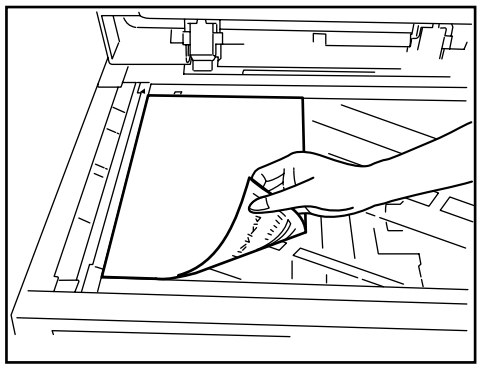
1 スキャナキーを押して、スキャナ機能画面を表示させてください。



2 [TWAIN]を押してください。
TWAIN モード画面が表示されます。



3 原稿をセットしてください。



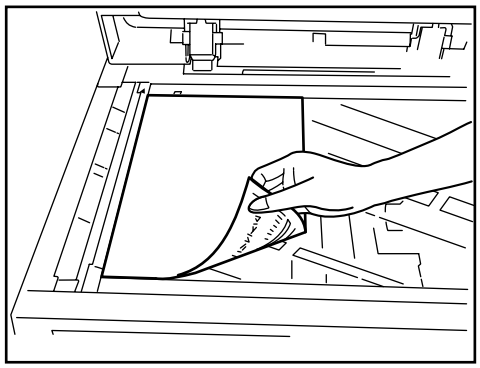
4 アプリケーションから TWAIN Source を起動してください。
TWAIN Sourceのメインダイアログが表示されます。ここで各種設定を行い、ダイアログの[接続]ボタンをクリックして、スキャナに接続してから、[スキャン]ボタンをクリックします。スキャンを開始します。

●PC からスキャンする場合

1 アプリケーションから TWAIN Source を起動してください。
TWAIN Sourceのメインダイアログが表示されます。ここで各種設定を行い、[スキャン待ち]をチェックします。
※[スキャン待ち]にチェックすると本体のスタートキーを押すことで、スキャンを開始します。

2 メインダイアログの[接続]ボタンをクリックして、スキャナに接続してから、[スキャン]ボタンをクリックします。
※本体が起動中、または動作中の場合は接続できないことがあります。この場合は、スキャナ機能画面から[TWAIN]を押して、TWAINモードにしてください。

3 本体に原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを開始します。
※本体の操作部で各種設定が出来ます。必要に応じて設定を変更してください。
※PC と本体の操作部両方で設定を行った場合、本体のタッチパネルの設定が有効になります。



3-3 データベース連携の設定

（1）データベース連携を行う前に

データベース連携を行う場合は、まず下記に示す設定などを行ってください。

1. DB Assistant を管理者 PC にインストールします。
2. DB Assistant を起動し、データベース連携を設定します。
3. 保存先の PC で、Scanner File Utility を起動し、データベース連携の設定を行います。

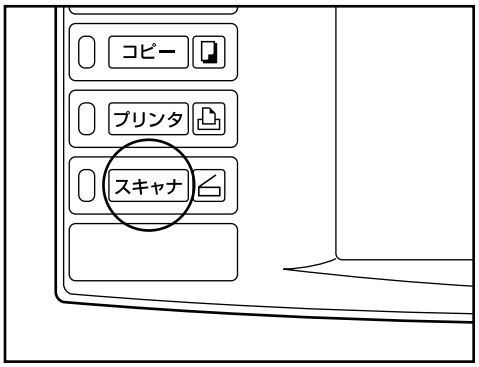
※事前に DB Assistant をインストールした PC と、Scanner File Utility をインストールした PC を Web ブラウザ、または本体操作部で登録しておく必要があります。

※ここでは主に KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報として、キーワードを追加する機能）の設定方法を説明します。

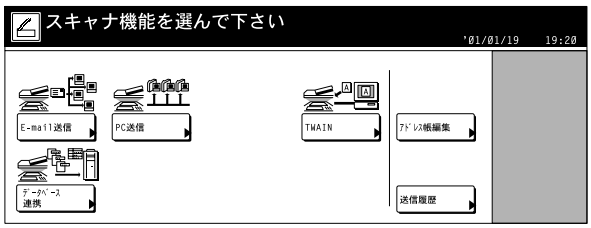
詳細は使用説明書　機能編（オンラインマニュアル）を参照してください。

（2）データベース連携の設定方法

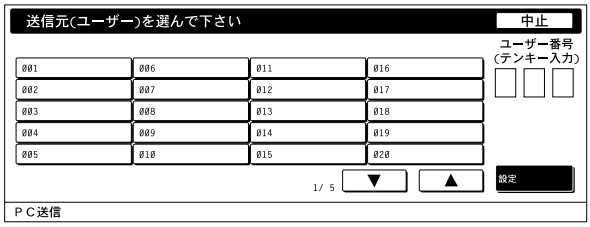
1 スキャナキーを押して、スキャナ機能選択画面を表示させてください。



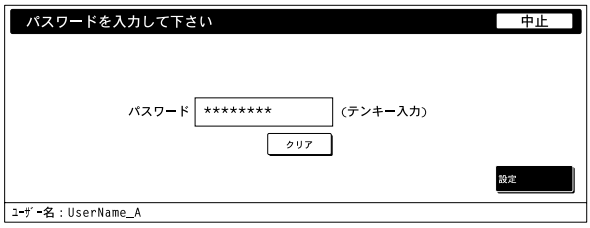
2 [データベース連携]を押します。
データベース連携ユーザー選択画面が表示されます。



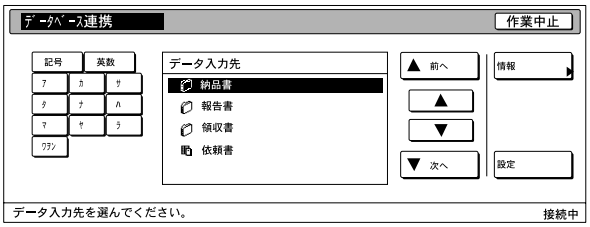
3 ▲▼を押して送信元（ユーザー）を選択し、[設定]を押してください。
データ入力先選択画面が表示されます。
※ユーザー番号はテンキーで入力することができます。
※スキャナ初期設定の［送信元（ユーザー）選択の省略］が［設定する］の場合、自動的にユーザー番号 001 の送信元（ユーザー）を選択します。



※ユーザー登録時にパスワードを入力していればパスワード入力画面が表示されます。パスワード入力後、[設定]を押してください。正しいパスワードであれば、データ入力先選択画面が表示されます。



4 データ入力先を選択します。▲▼を押して、データ入力先を選択し、[設定]を押してください。

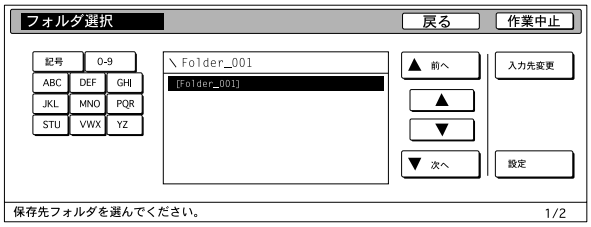


ここでは KM-DB アシスト（スキャンした画像に文書情報として、キーワードを追加する機能）の選択方法を説明します。

※データ入力先詳細を確認するときは、▲▼を押して確認したい入力先を選択し、[情報]を押してください。データ入力先 PC の IP アドレスや、保存先フォルダ番号などが確認できます。

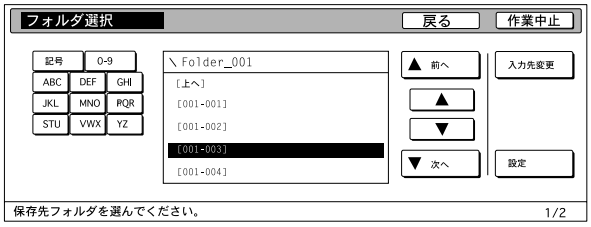
※データベースアシスト（スキャンした画像と文書情報として CSV ファイルを作成する機能）を選択した場合で、DB Assistant からパスワードを設定していると、そのパスワードの入力が必要になります。

5 画像を保存するフォルダを選択します。フォルダ選択画面で、現在、選択されているフォルダに保存する場合は、[設定]を押してください。文書情報画面が表示されます（この場合、手順7に進みます）。指定フォルダよりも下の階層のフォルダに保存する場合は、[入力先変更]を押してください。指定フォルダ内が表示されます。



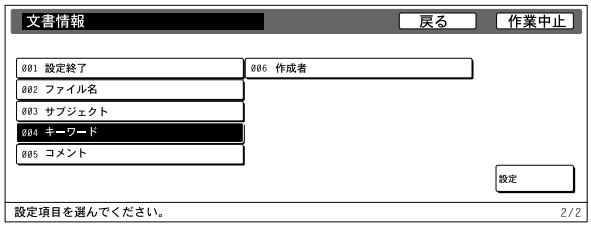
※保存先フォルダ名にピリオド“.”が含まれている場合、保存先フォルダの選択画面において、フォルダ名称が正常に表示されないことがあります。
※データベースアシスト機能は、入力先を変更できません。

6 ▲▼を押して保存したいフォルダを選択し、[設定]を押してください。文書情報画面が表示されます。



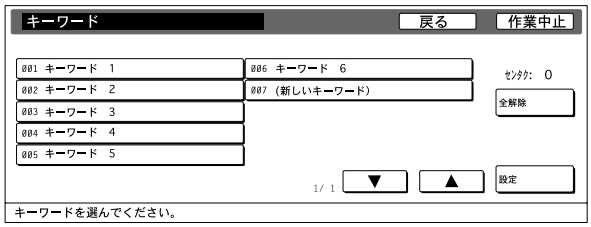
※１つ上のフォルダに移動したい場合は[上へ]を選択してから、[設定]を押してください。
※ Scanner File Utility で指定したフォルダより上の階層に入力先を設定することはできません。

7 登録したい項目を選択し、[設定]を押してください。選択した項目の設定画面が表示されます。ここでは例として、[キーワード]を選択します。

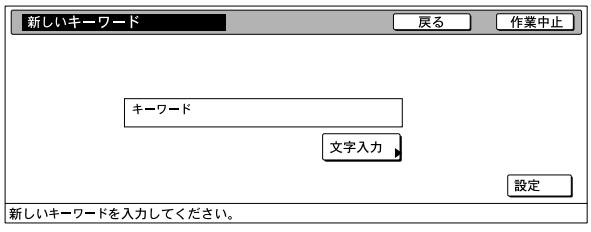


※[ファイル名]では、スキャンした画像のファイル名を変更することができます。
※[キーワード]、[サブジェクト]、[作成者]、[コメント]は、すべて文書情報のキーワードとして登録されます。
※データベースアシスト機能を選択した場合は、設定項目が異なります。

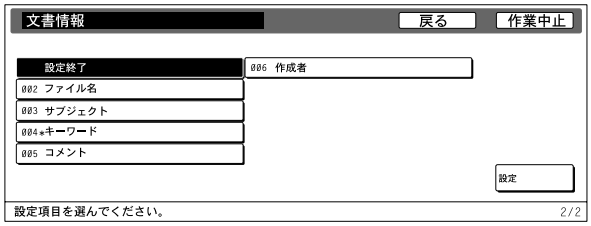
8 ▲▼を押して追加したいキーワードを選択してください。選択が終わったら、[設定]を押してください。文書情報画面に戻ります。



※ DB Assistant で登録したキーワード以外に、新しいキーワードを入力したい場合は、項目最後にある（新しいキーワード）を選択し、[設定]を押してください。新しいキーワード入力画面となり、新しいキーワードを入力することができます。文字を入力したい場合は[文字入力]を押してください。



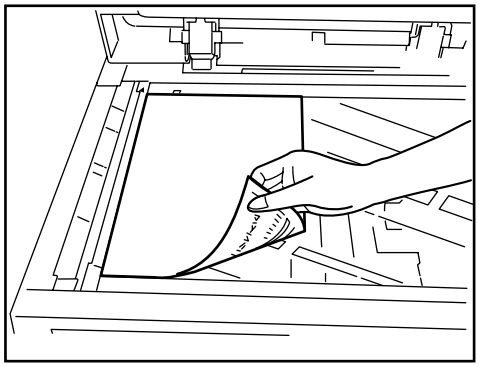
9 変更を行った項目には、“＊”が表示されます。これでよければ[設定終了]を選択してから、[設定]を押してください。スキャン設定画面を表示します。



10 本体に原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを開始します。

※本体の操作部で各種設定が出来ます。必要に応じて設定を変更してください。

※PC と本体の操作部両方で設定を行った場合、本体のタッチパネルの設定が有効になります。

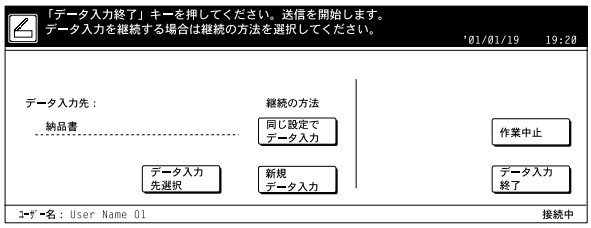


※文書データ入力を再度設定したい場合は、[データ入力やり直し]を押してください。文書情報画面に戻ります。

11 スキャンを終了すると以下の画面を表示します。原稿の読み込みを終了する場合は、[データ入力終了]を押してください。

・KM-DB アシスト機能の場合は、スキャンした画像に先程登録した文書情報（キーワード）を追加して、指定フォルダに保存します。

・データベースアシスト機能の場合は、スキャンした画像に登録した、文書情報を CSV ファイルにして、指定フォルダに保存します。



※再度、データベース連携を使用する場合は、［データ入力先選択］を押してください。P3-6 手順４から作業を行うことができます。

※再度、同じ設定でデータベース連携を使用する場合は、［同じ設定でデータ入力］を押してください。P3-7 手順６から作業を行うことができます。

※再度、同じ指定アシスト機能でデータベース連携を使用する場合は、［新規データ入力］を押してください。P3-7 手順５から作業を行うことができます。

4. こんなときには

4-1　エラーメッセージ

スキャナ使用中に以下のようなメッセージが表示されたら、以下の処理方法で対処してください。

メッセージ	処理方法
スキャナが使用できません	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。スキャナの起動直後すぐであれば、しばらく（約2分）待ってから使用してください。
送信先 PC が見つかりません PC を確認して下さい	使用中の PC に問題があります。PC 上で Scanner File Utility が起動しているか、受信可能状態になっているか確認してください。
すでに同じ名称が登録されています。再度名称を入力してください。	登録名称を変更して再度登録してください。
同じ番号が使用されています。再度番号を入力してください。	登録番号を変更して再度登録してください。
登録件数がいっぱいです。これ以上登録できません。	不要な登録を削除してから新規登録してください。
E-mail 送信サイズの制限を超えました。	送信枚数を減らすか、解像度を落して再度送信してください。
指定された番号は登録されていません。再度番号を入力してください。	該当する番号がありません。 もう一度、番号を確かめてから選択してください。
SMTP サーバが見つかりません。	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。スキャナの起動直後であれば、しばらく（約 2 分）待ってから使用してください。 その他の場合は、SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。
個人アドレス帳 PC が見つかりません。PC を確認してください。	Address Book が PC 上で起動していない場合は、起動させてください。起動している場合は、使用中の PC がネットワークに正しく接続されているか、スキャナネットワークカードにネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。
ネットワークスキャナ　システムエラーが発生しました。	本体を再度、立ち上げてください。
通信エラーが発生しました。	PC 送信の場合は、送信先 PC の状態を確認して再度送信してください。e-mail 送信の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者に確認してください。
送信先 PC でエラーが発生しました。	送信先 PC の状態を確認して再度送信してください。
ファイルが保存できませんでした。 送信先 PC を確認してください。	送信先 PC の Scanner File Utility で設定したハードディスクの制限容量を超えている場合は、空き容量を増やしてから、再度送信してください。 複数のスキャナから同時に同じファイル名で送信された場合も保存できません。 しばらく待ってから再度送信するか、ファイル名を変更してください。
送信先 PC 上のアプリケーションが動作していません。	送信先 PC で Scanner File Utility が起動しているか確認してください。
送信先 PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	送信先 PC とスキャナが接続中です。しばらくしてから再度送信してください。

メッセージ	処理方法
個人アドレス帳 PC のバージョンが異なります。管理者に連絡してください。	Address Book のバージョンが異なります。管理者等に確認してください。
個人アドレス帳 PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	指定の Address Book とスキャナが接続中です。しばらくしてから、再度選択してください。
送信元（ユーザー）が登録されていません。 管理者に連絡してください。	本スキャナ、送信元（ユーザー）リストの、ユーザー番号 001 に送信元（ユーザー）が登録されていません。ユーザー番号 001 に新規登録するか、スキャナ初期設定の［送信元（ユーザー）選択の省略］の設定を［設定なし］にしてから、別の送信元（ユーザー）を選択してください。
送り先が登録されていません。	指定の送り先は登録されていません。 新規登録するか、別の送り先を選択してください。
パスワードがちがいます。	正しいパスワードを入力してください。
ドメイン名、ホスト名を確認してください。	スキャナのドメイン名、ホスト名が設定されていません。ドメイン名、ホスト名を設定しているか確認してください。 （P2-2 “（3）本機タッチパネルからの設定”を参照）
原稿枚数オーバーです。 読み取り終了分まで送信しました。	1 度に送信できる原稿制限枚数 999 ページに達しました。超過分は分けて送信してください。 ※両面、ブック原稿などの設定によっては、998 ページで送信する場合があります。
DB Assistant PC を確認してください。管理者に連絡してください。	DB Assistant が認識できません。DB Assistant がインストールされている PC で DB Assistant が正しく起動しているか確認してください。
通信エラーが発生しました	DB Assistant からサポート外の応答を受信しました。 DB Assistant がインストールされている PC を確認してください。
DB Assistant のバージョンが異なります。管理者に連絡してください。	DB Assistant のバージョンが異なります。管理者等に確認してください。
DB Assistant PC でエラーが発生しました。管理者に連絡してください。	DB Assistant または、DB Assistant がインストールされている PC でエラーが発生したため通信を継続できません。 DB Assistant がインストールされている PC を確認してください。
DB Assistant PC が使用中です。しばらくしてからやり直してください。	DB Assistant とその他のスキャナが接続中です。しばらくしてから再度接続してください。

5. 仕様

5-1　スキャナ仕様

動作環境 ..... IBM PC/AT 互換機
オペレーションシステム：Windows 95（OSR2）、Windows 98（Second Edition）
Windows NT 4.0（Service Pack 5）、Windows 2000、Windows Me、Windows XP
CPU：Pentium 133MHz 以上、（Celeron 266MHz 以上を推奨）
RAM：64MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量：20MB 以上、（300MB 以上を推奨）
CD-ROM ドライブ：1 ドライブ
イーサネットポート..... 100BASE-TX, 10BASE-T（自動切替え）
ネットワークプロトコル..... TCP/IP
転送プロトコル..... 独自方式（画像転送時 / ユーティリティによる設定時），
SMTP（Eメール送信時）、HTTP（Web 設定時）

J

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

2002. 9
3HJ80021B